

授業科目 保健社会学

【担当教員名】 内山 由美子、米林 喜男 他		対象学年	1	対象学科	看護
		開講時期	前期	必修選択	必修
		単位数	1	時間数	15
【カリキュラムポリシーとの関連性】					
知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	
◎	○	○	◎		
【概要・一般目標：G10】					
<p>1) 保健・医療の活動対象となる社会を理解するために社会学の基礎的知識を学習する。</p> <p>2) 医療の現場、ヒューマンケアに深く関連する社会学の概念について学習し、対象理解に活用できる知識を習得する。</p>					
【学習目標・行動目標：SBO】					
<p>1) 地域で生活する人々が構成している社会、人間が構成する集団の特徴を、社会学の視点から理解し、述べることができる。</p> <p>2) 保健・医療の分野と社会学とのかわりを述べることができる。</p> <p>3) 医療現場における事例について、学習した社会学の概念を通して考察し、自己の考えを述べることができる。</p>					
回数	授業計画・学習の主題			SBO 番号	学習方法・学習課題 備考・担当教員
1	社会学の基礎			1、2	講義
2	社会学の基礎			1、2	講義
3	保健社会学の概念（1）：「社会学」の視点からの「病気」「病」についての理解			1、2	講義
4	保健社会学の概念（2）：「社会学」の視点からの他者や患者の理解			1、2	講義
5	保健社会学の理解（1）：現代社会における「医療コミュニケーション」			1、2	講義
6	保健社会学の理解（2）：グループワーク			2、3	講義
7	保健社会学の理解（3）：人間の強さ・強み、生きる力			2	講義
8	保健社会学の理解（4）：人間の強さ・強み、生きる力「体験者の語り」			2、3	講義
【使用図書】		<書名>	<著者名>	<発行所>	<発行年・価格 他>
教科書 (必ず購入する書籍)		健康と医療の社会学	山崎喜比古	東京大学出版	2001・2,940円
参考書					
その他の資料					
【評価方法】		【履修上の留意点】			
定期試験 80%		集中講義形式で実施する予定。			
リアクションペーパー 30%		詳細については、授業開始時に伝える。			
		参考書は授業内で提示する。			